

検討事項①

電気通信市場のグローバル化における利用者利益等の確保

(第3回WG1においてヒアリング予定)

検討事項②

ネットワーク仮想化等の技術革新への対応の在り方

(本日のヒアリング)

- ネットワーク仮想化が進展し、それに伴い、「設備を設置する主体」とは別に、ネットワークの外部からクラウド等を通じてネットワークの管理・運用を担う等の『「機能」を活用する主体』が登場するとの指摘について、御社の見通し、関連する取組等があれば具体的にご教示ください。
- こうした主体が登場し、その役割が拡大した場合を想定し、現行の制度等を踏まえ、どのようなルールが適当と考えますか。特に、ルールを適用すべき主体の確認の在り方、安全・信頼性の確保の在り方、利用者利益の確保の在り方等について、お考えがあればご教示ください。
- この他、新サービス・ビジネスの創出を促進する観点から、ネットワーク仮想化に関連し、現行の制度等を踏まえ、どのようなルールが必要と考えますか。また、こうしたルールが必要とされるような市場動向等について、御社の見通し等があればご教示ください。

検討事項③

日本の通信産業の競争力強化の在り方

(本日のヒアリング)

- 5G、ネットワーク仮想化等の革新技术の普及においては、通信産業内の事業者間のみならず、他業界と通信産業の事業者間で、事業展開、研究開発、人材育成、標準化活動等における連携強化が求められるのではないかと指摘について、どのように考えますか。
- こうした連携強化を含め、日本の通信産業の競争力を強化する観点から、どのような政策的な後押しが考えられますか。御社の見通し、関連する取組、また、取組を進める上での課題等があればあわせてご教示ください。

ヒアリング対象者

日本電信電話(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、

日本電気(株)、ノキアソリューションズ&ネットワークス(同)、エリクソン・ジャパン(株) (各10分)